



# 啓北だより

啓北中50年の底力:つなぎ、広げ、前へ



## 1年間の成長の姿が見える最終学期に

東藤 義文

2026年は午年。

午の年は「情熱と勢いが高まり、大きな飛躍のチャンスとなる年」になり、特に丙午（ひのえうま）の今年は「エネルギーに満ち溢れるパワフルな年」とされているそうです。そんなエピソードに倣って、啓北中学生の一人一人が思う存分に力を発揮し、活躍する一年であってほしいと願っています。



さて、2学期の終業式では学校行事や進路学習、日々の活気ある授業と仲間と取り組むいじめ問題などについて、その頑張りを讃え、3学期に向けては新たな目標をもって登校してほしいと話しましたが、どんな決意を胸に抱いたでしょうか。

職場体験や進路の学習を通して、社会に出るためには自分にもっとこんな力が必要だ、自分の目指す高校にはまだまだ努力が必要だ、そんなことを感じたはずです。2学期の終わりには通知表を携えて教科相談に並ぶ人を大勢見ました。もっと良い成績を取りたい、そういう思いが溢れていました。1か月にわたるいじめ撲滅の取組を通して、全学年で仲間の気持ちを考えた接し方や言葉かけを誓いました。そんな思いを一過性のものとせず、地道な努力や実行を続けているでしょうか。

皆さんの次の一歩。それは「与えられたことを真面目にやる」から先に進んで、「自分が決めた目標について、強い気持ちで最後まで継続させる」ことです。そして、「積極的にコミュニケーションを図り、多様な仲間とよりよい関係をつくる」ことです。

希代の名打者として次々と大リーグ記録を塗り替え、昨年には日本人初のアメリカでの野球殿堂入りを果たしたイチロー選手の言葉を紹介します。

- 「自分ができると思ったことでも、必ずできるとは限らない。しかし、自分ができないと思った瞬間に、その挑戦は終わる。」
- 「少しずつの積み重ねでしか自分を超えていけない。途中で手を抜くと、自分自身で可能性を潰してしまう。だから、小さなことを重ねてほしい。」

3学期は50日に満たない登校日数、いわば短距離走です。この短い期間に一年間の総決算あるいは中学校生活からの卒業、進学・進級に向けた準備が凝縮しています。

これまでの努力の成果と成長度合いが、皆さんの姿となってはっきり表れる最終学期。良い締めくくり、良いスタートに向けて集中し、駿馬の如く全力で駆け抜けましょう。

地域、保護者の皆様。3学期のスタートに当たり、生徒たちはこれまでと変わらず、明るく元気な姿で登校してきました。開校50周年の特別な1年も残すところわずかとなって参りましたが、有終の美を飾れるよう教育活動の充実と改善に努めてまいりますので、本年もこれまで同様のお力添えをよろしくお願い致します。



# 令和7年度 学校評価結果報告

昨年度比： 向上・低下（単位％）

番号	質問事項	生徒肯定的評価	保護者肯定的評価
1	充実した学校生活を送ることができている	87.0	69.2
2	礼儀正しく明るい行動を心がけ、誰もが安心できる場をつくっている	85.3	61.7
3	先生は子どものよさや挑戦を後押ししてくれる	85.3	76.5
4	自分と仲間、先生はよい関係であり、学級に居場所がある	86.4	73.5
5	校舎はきれいに使われ、掲示物なども工夫されている	87.6	79.4
6	授業は見通しがもて、わかりやすい	78.5	55.9
7	自分の思いや考えをまとめ、表現するように努力している	78.0	61.8
8	先生は教え方を工夫したり、アドバイスをしたりしている	83.6	51.4
9	道徳の時間は仲間と議論したり、よりよい生き方を考えている	85.8	54.5
10	学校行事では自分たちの考えや、個性をよく生かしている	87.0	80.8
11	行事では仲間と協力し、仲間の理解を深めている	89.9	88.2
12	生活や学習のきまりを身に付ける指導をしている	84.2	75.0
13	先生方は生徒の話を聞き、誠意をもって対応している	85.9	75.0
14	先生方はいじめについて適切かつ迅速に対応している	85.3	67.7
15	体力・運動能力を高めるための目標をもって授業を受けている	82.0	57.4
16	情報モラルや非行防止についての知識が深まっている	89.8	67.6
17	交通安全や生活安全等の知識が深まっている	91.5	72.0
18	部活動に前向きに楽しく取り組んでいる（加入者のみ）	92.9	76.2
19	総合的な学習の時間では、様々な体験や表現活動を行っている	93.2	88.2
20	総合的な学習では、探究心を大切に学んでいる	89.3	85.3
21	進路の学習では自分を理解し、将来を考える機会をつくっている	91.5	76.5
22	進路選択にあたって、様々な情報を提供している（3年生のみ）	93.3	58.4
23	職場見学・講話や体験を通して働くことの理解を深めている（1・2年）	94.5	85.8
24	家庭でタブレット端末等を活用して自主的に家庭学習に取り組んでいる	70.1	57.4
25	学校は必要な情報の発信や説明を通して、丁寧な連絡や対応をしている	—	80.9
26	子どもたちは家庭で学校の様子を話すことがある	—	67.7

## ★分析と今後に向けて

令和6年度の学校評価結果と比較したところ、多くの項目で昨年度より大幅に数値がアップし、改善が進んだことが結果に現れています。開校50周年記念という節目の年であり、新しい試みに挑戦した年であったことが、前向きに取り組むことができた大きな機会になったと推察できます。

**【成果】** 行事や部活動、総合的な学習の時間に対する意欲が非常に高く、特に職場体験等を通じた進路学習は生徒（94.5%）・保護者（85.8%）共に高く評価されています。また、人間関係や安全意識、学校生活への満足度も総じて高く、生徒が安心感をもって主体的に活動できている点が大きな成果です。

**【課題】** 学習面と家庭連携に改善の余地があります。授業の分かりやすさや教員の工夫に対し、保護者の肯定率は5割台に留まり、生徒との認識差が顕著です。また、タブレットを活用した家庭学習（保護者57.4%）は全項目で最低水準であり、ICT活用の習慣化や、授業内容の積極的な情報発信が今後の改善点となります。

## 北海道中学生アルペンスキー大会in糠平

今年はミラノ・コルティナ2026冬季オリンピックが開催され、北海道出身の多くの選手が出場します。2年生の川口乃々さんは、15日～17日に全国大会を目指してGSLとSLの2種目に出場しました。貴重な経験を糧に、次はもっと輝けるはず！

